CUCINA

mohly system kitchen

システムキッチン

取扱説明書

このたびはクチーナシステムキッチンをお求めいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しく、いつまでも美しくお使いいただくためにこの説明書をご一読いただいたうえ
ご愛用くださいますようお願い申し上げます。
お読みになった後は大切に保管下さい。

【目　次】

◆安全上のご注意・・・・・・・・・・１
◆ご使用時のお願い・・・・・・・・・３
◆扉の調整方法・・・・・・・・・・・５
◆引出しの取付について・・・・・・・６
◆ラック・フックの取付について・・６
◆巾木・・・・・・・・・・・・・・・７
◆ダウンライト電球の交換・・・・・７
◆蛍光管・蛍光ランプの交換・・・・８
◆耐震ラッチ解除方法・・・・・・・９
◆日頃のお手入れ・・・・・・・・・９
◆保証書・・・・・・・・・・・・・１０

安全上のご注意

お使いになる前によくお読みいただき
必ずお守り下さい

お使いになる方やそれ以外の方への危害、財産への損害を未然に防ぐため
必ずお守りいただきたいことを次の様な表示で表わしています。

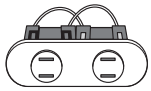
⚠警告	⚠注意
誤った使い方をすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。	誤った使い方をすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

お守りいただきたい内容の種類を次の記号で区分し、説明しております。（下記はその表示の1例です。）

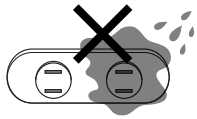
禁止 してはいけない「禁止」内容を説明しています。	必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

⚠警告

禁止 電源コンセントに表示されている容量を守って下さい。
⇒発熱により火災の原因となります。

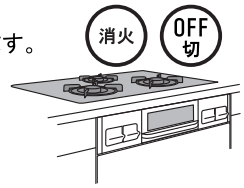


禁止 コンセントを濡らしたり、濡れた手でさわらないで下さい。
⇒感電や火災の原因となる恐れがあります。

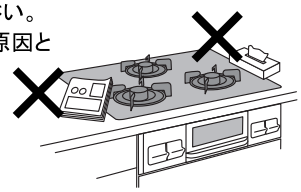


禁止 分解・修理・改造は行わないで下さい。
⇒発火、ケガ、故障の原因になります。

必ず 調理機器の使用後、またはお出かけなどの際には電源スイッチ等が「切」「消火」になっていることを確かめて下さい。
⇒火災の原因となる恐れがあります。



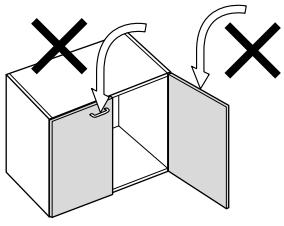
禁止 調理機器の上や周りには燃えるものなどを絶対に置かないようにして下さい。
⇒消し忘れなどにより火災の原因となる恐れがあります。



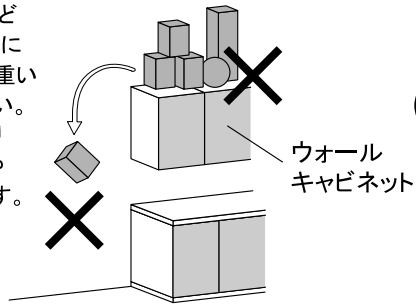
⚠注意

禁止 キャビネットの中で、熱や蒸気を発生する恐れのある電気機器を使用しないで下さい。
⇒火災の危険があります。

禁止 扉、把手、引出しやキャビネット本体にぶら下がったり、乗ったりしないで下さい。
⇒扉、把手、引出しが外れてケガをする恐れがあります。
また、破損する原因となります。

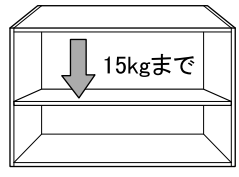


禁止 ウォールキャビネットなど壁吊りキャビネットの上に物をたくさん置いたり、重いものは置かないで下さい。
⇒落下してケガをしたりキャビネットの変形や破損の原因となります。

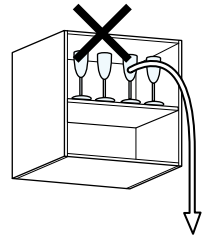


禁止 固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤・ヌメリ取り剤を使用したり、近づけないで下さい。
⇒水や湿気に反応して発生する塩素ガス等がステンレスシンク等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管場所や方法に十分注意して下さい。その他の洗浄剤・漂白剤・ヌメリ取剤は使用上の注意をよく読んでご使用下さい。

禁止 可動棚板に乗せる物は1枚あたり15Kg(積載荷重)までとして下さい。
※奥行き寸法350mm幅寸法900mmタイプを基準
⇒変形や破損の原因となります。



禁止 ウォールキャビネットなど高い所にガラス製品や刃物・転がりやすい物など危険な物を置かないで下さい。
⇒落下して、ケガをする恐れがあります。



安全上のご注意

お使いになる前によくお読みいただき
必ずお守り下さい

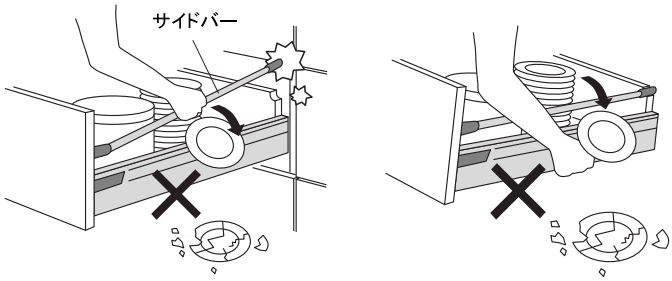
⚠注意

禁止

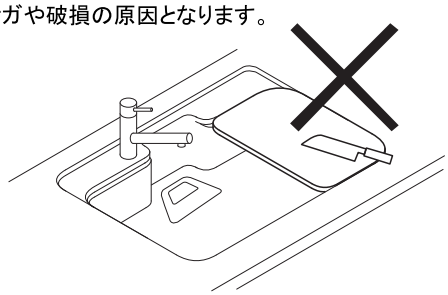
テープやシール類を貼らないで下さい。

禁止

引出しのサイドバーを持って引出しを外したり
収納物が入ったまま引出しを外さないで下さい。
⇒サイドバーが破損したり、収納物が落下し
ケガをする恐れがあります。

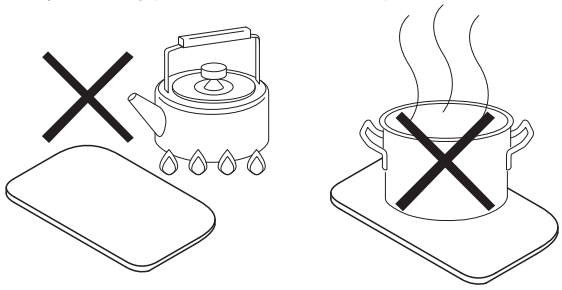


まな板を使用する際は不安定な場所での使用や、流し（シンク）
での渡し掛けでは使用せずに必ずカウンタートップの上にて
ご使用下さい。
※冷凍食品等すべりやすい食品・硬い食材や大きな食材等を
扱うときは、注意してご使用下さい。
⇒まな板がガタついたり、流しに落下するなど
ケガや破損の原因となります。



禁止

まな板の上に熱いなべ等を置いたり、火のそばに近づけないで
下さい。また、高温・低温での使用・保管・乾燥・洗浄等はしない
で下さい。
⇒変形や破損・火災の原因となります。



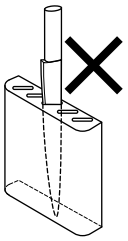
調理機器及びビルトインされている電気機器は
それぞれに添付の取扱説明書や本体の表示を守って下さい。
⇒使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の
原因となる恐れがあります。

禁止

調理器具、レンジフードなど熱くなる物は
使用直後は手を触れないで下さい。
⇒やけどの恐れがあります。

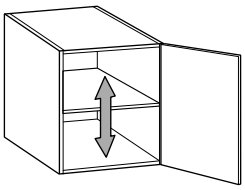
禁止

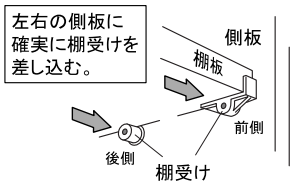
特殊な形をした包丁は包丁差しに
収まらず危険なので入れないで下さい。



扉に傾きが見られたり、取りつきの悪いときは
蝶番のネジを締め直して下さい。
⇒扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。
◇扉の調整について詳しくは
5ページの説明をご覧下さい。

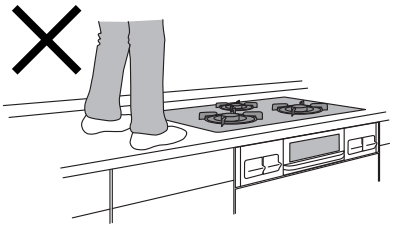
棚板の高さを調節する際、物が乗っていない
状態できちんとセットして下さい。
⇒物が落ちてくる可能性があり危険です。





禁止

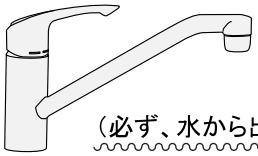
カウンタートップの上には乗らないで下さい。
特に調理機器・シンク・コーナージョイント部・食器洗い
乾燥機の周辺には乗らないで下さい。
⇒カウンターが割れたり、ケガをする恐れがあります。



機器などのお手入れや電球・蛍光管を取り替える際
必ず電源をOffにして下さい。
⇒感電・ケガ・やけどをする恐れがあります。

◇電球・蛍光管は割れると危険です
取扱に気をつけて下さい。

混合水栓を使用する場合お湯から使わないで下さい。
また、お湯の使用中や使用直後は水栓本体に
触れないで下さい。
⇒やけどの恐れがあります。
※詳しくは商品に付属している取扱説明書をご覧下さい。



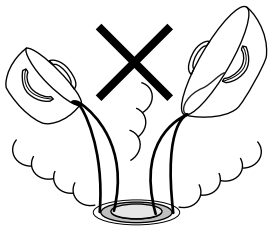
安全上のご注意

お使いになる前によくお読みいただき
必ずお守り下さい

⚠注意

禁止

沸騰しているお湯や油等を排水口に流さないで下さい。
⇒排水部品の破損や排水管の内部に油が付着して
つまる原因となります。

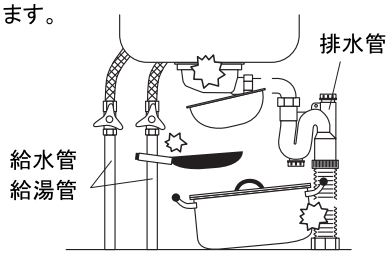


特定保守製品（ビルトイン式食器洗い乾燥機）は定められた点検期間中に必ず点検を受けましょう。
⇒経年劣化による重大事故になる恐れがあります。
※点検は有償となります。また点検の結果により修理・部品交換などが発生した場合別途費用が必要となりますのでご了承ください。

排水管・給水管・給湯管の接合部は定期的に点検して下さい。
⇒接合部にものが当るなどが原因で接合部がゆるみ、水漏れする恐れがあります。

禁止

排水管・給水管・給湯管に衝撃を与えないで下さい。
⇒変形・破損・水漏れなどの原因となる
恐れがあります。



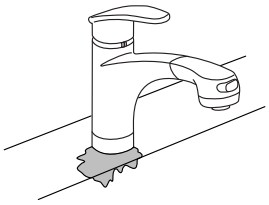
【特定保守製品とは】
「消費生活用品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により、安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる商品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの」として消費生活用製品安全法（消安法）で指定された製品です。

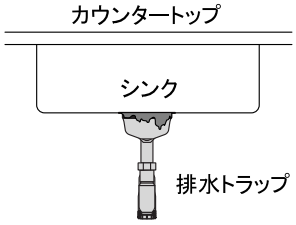
◆所有者登録をしましょう。
点検期間の通知や適切な保守に資する事項の通知を受けるには特定保守製品（ビルトイン式食器洗い乾燥機）の所有者登録を行う必要があります。
※登録方法は商品に同梱の所有者票（返信ハガキ）などで登録できます。

ご使用時のお願い

上手にお使いいただくために

【水栓・排水トラップ】



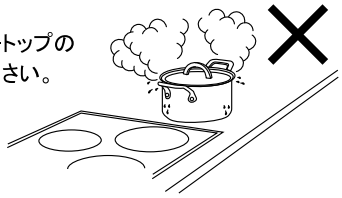


●水栓のぐらつき、シンクと排水トラップ配管に水漏れ等が見られるときは、ご購入先まで修理を依頼して下さい。

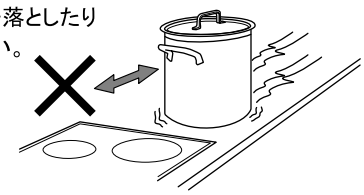
●排水口のゴミカゴのゴミは、こまめに捨ててためないで下さい。
⇒水の詰まりや悪臭、水漏れの原因になります。

【カウンタートップ】

●メラミンや人工大理石のカウンタートップの上に熱い鍋等を直接置かないで下さい。
⇒変色、変形の原因になります。

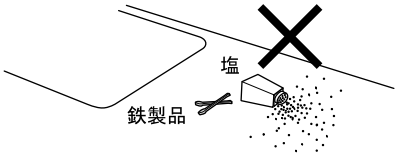


●カウンタートップの上に硬い物を落としたり重たい物を引きずらないで下さい。
⇒傷がつく恐れがあります。

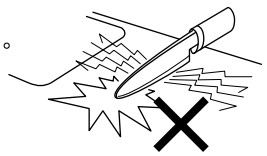


●シンクに包丁や鋭利な物を当てたり、鍋など重い物を落すなど衝撃を与えないで下さい。
⇒ひび割れ、傷の原因になります。

●ステンレスのシンクやカウンタートップに鉄分、鉄製品などを長時間放置しないで下さい。
⇒錆び（もらい錆び）の原因になることがあります。
また、塩分を含んだ物が残っていると錆び（化学反応）を起こす恐れがありますので、早めに拭取って下さい。



●カウンタートップの上で直接包丁やカッターナイフ等を使わないで下さい。
⇒傷をつけることになります。



ご使用時のお願い　上手にお使いいただくために

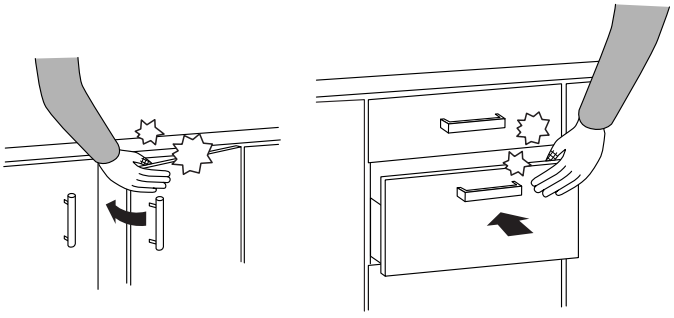
【キャビネット】

●濡れたままにしたり、把手に濡れたタオルを掛けないで下さい。
また、汚れたままにしないで下さい。
⇒扉やキャビネット表面のはがれ・染み・膨れなど
劣化の原因となります。
また、汚れは錆や腐食、カビの原因となります。

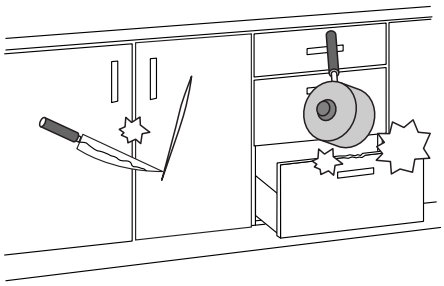
●扉やキャビネットボックスのお手入れにシンナーや
ベンジンなどの有機溶剤を使わないで下さい。

●お子様が近くにいる場合、扉や引出しなどに
はさまれないように注意して開閉して下さい。

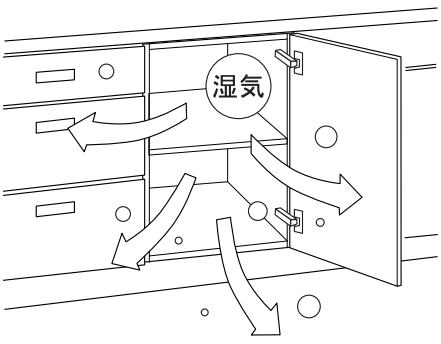
●扉や引出しの開閉は把手部を持って開閉して下さい。
⇒指をはさんでケガをする恐れがあります。



●扉やキャビネットに硬い物や鋭利な物を
ぶつけないで下さい。
⇒キズや破損の原因となります。

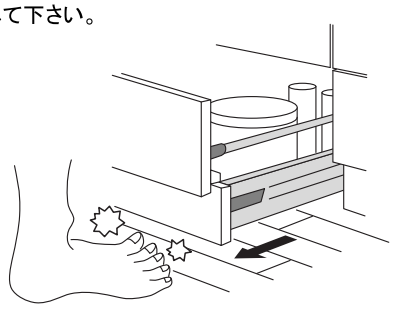


●キャビネットの扉を時々開けて換気し、
湿気がこもらないようにしましょう。

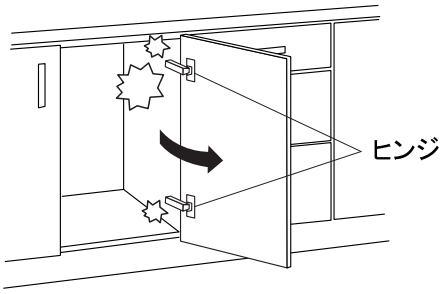


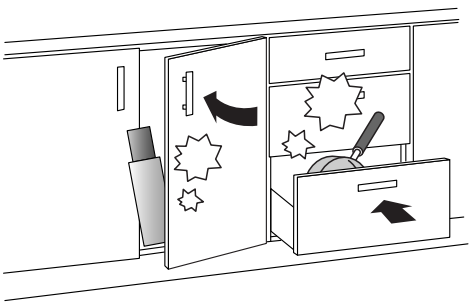
●収納物が片寄らないように収納して下さい。
⇒荷重が不安定になり、変形や破損の原因となる恐れがあります。

●フロアーストッカーキャビネット最下段の引出しを
開閉する時は足の指などはさまらないように
注意して開閉して下さい。

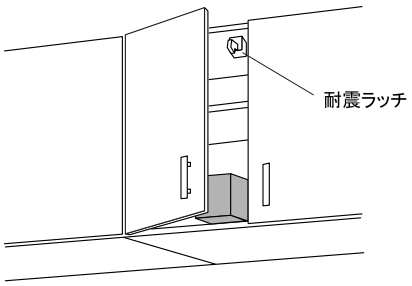


●扉を無理に開け閉めしないで下さい。
⇒ヒンジ・レールなどの金物や扉が破損する原因となります。





●扉が閉まらないような収納はしないで下さい。
⇒収納物が落下する恐れがあります。
また、ウォールキャビネットなど耐震ラッチが付いている
キャビネットの場合、地震発生時に耐震ラッチが働かずに
ケガをする原因となります。

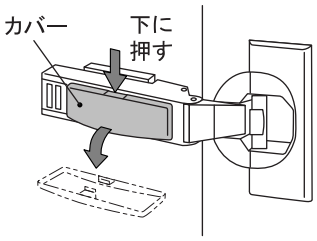


扉の調整方法

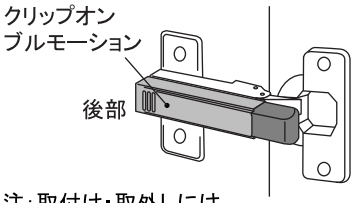
開き扉を調整する場合

◇扉の調整の前にカバーまたはクリップオンブルモーションを外して下さい。

【カバーの取外し方】



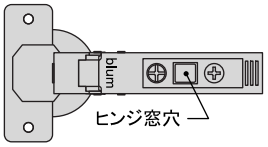
【クリップオンブルモーションの取付け・取外し方】

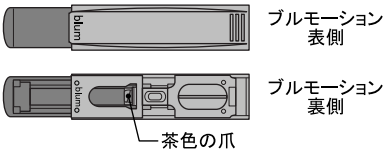


●取外し方
人差し指でブルモーションの後部を手前に押すようにして手前側に引き上げます。

●取付け方
ブルモーションの裏側に付いている茶色の爪をヒンジの窓穴の手前に当て、上から押します。

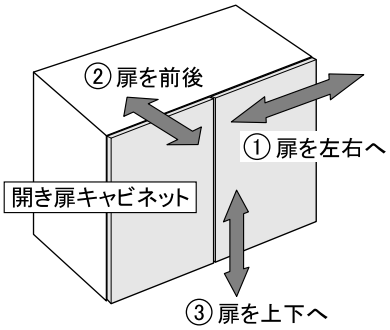
注：取付け・取外しには
ある程度の力を要し
また指を傷つける
恐れがあります。
必ず手袋、保護具を
着用して下さい。





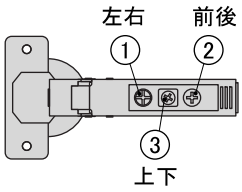
【扉の調整方法】

※プラスドライバーにて、調整して下さい。
※調整は必ず扉を支えて行って下さい。

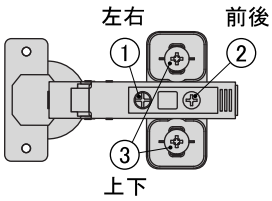


①扉を左右へ動かす時に使います。
ネジを右に回すと外へ左に回すと
内へ動きます。

【打込み座金の場合】



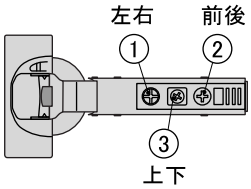
【十字座金の場合】



③扉を上下へ動かす時に使います。
ネジを左へ回してゆるめてから
スライドさせちょうど良いところで
右に回して締め付けます。

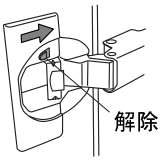
※左図のような動作を致します。

ブルモーション内蔵ヒンジ



②扉を前後へ動かす時に使います。
ネジを左右どちらかに回してスライドさせ
ちょうど良いところで止めます。（カム式構造）

【ブルモーション解除方法】



解除レバーを矢印の方向に
スライドさせ扉を閉めると解除します。
戻す場合はレバーを反対方向に
スライドさせて下さい。

※ブルモーションを解除すると
扉を閉める時の音や衝撃を
緩和するソフトクローズ機構
が解除されますので、扉を
閉める時はご注意下さい。

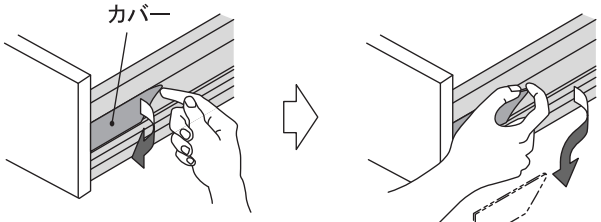
※ブルモーション内蔵タイプの
ヒンジのみにレバーがついています。

引出し扉を調整する場合

※幅600以下の引出しのみ調整できます。

◇扉の調整の前にカバーを外して下さい。

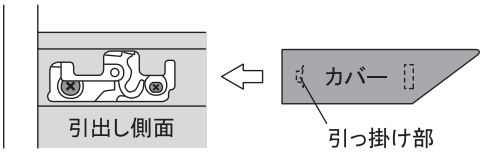
【カバーの取付け・取外し方】



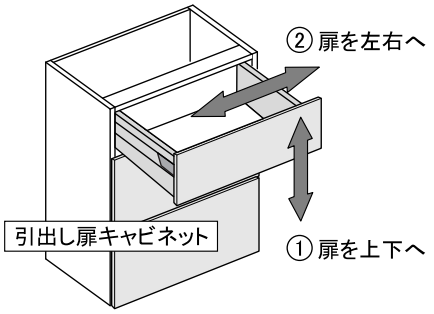
※曲げすぎるとカバーが
破損する恐れがあります。

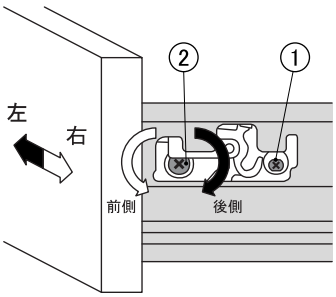
●取外し方
扉を手で持って引出しを固定し、カバーのはしを左図のように人差し指で引っかけ、手前に少し曲げた状態にして親指でカバーを下に押し出すように取外して下さい。
※カバーの先端でケガをしないように気をつけて下さい。

●取付け方
下図のように引っ掛け部の方からカバーを取付けて下さい。
※カバーが浮いたりせず平らに付いていることを確認してください。



【扉の調整方法】※プラスドライバーにて、調整して下さい。





①扉を上下へ動かす時に使います。
ネジを左右どちらかに回して
ちょうど良いところで止めます。

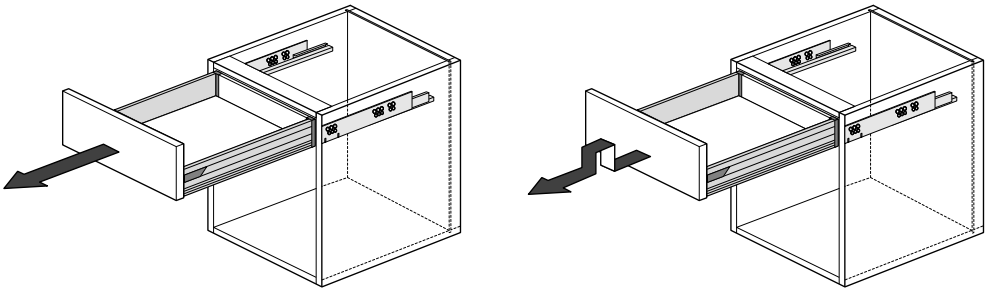
②扉を左右へ動かす時に使います。
引出し右側を調整する場合、ネジを後側「➡」矢印に回すと扉が左へ、前側「⇨」矢印に回すと扉が右へ動きます。引出し左側を調整する場合も、ネジを後側に回すと扉が左へ、前側に回すと右へ動きます。

引出しの取付について

◇引出しを取外す前に必ず収納物を出して下さい。
　収納物が落下してケガや破損の恐れがあります。

【引出しの取外し方】

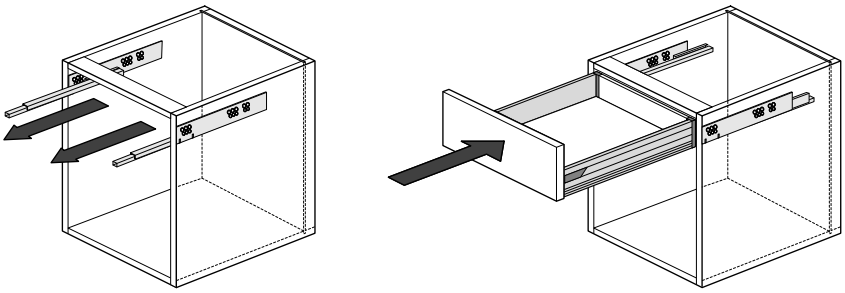
引出し内部をお掃除して頂く際にキャビネット側の受けレールから取外すことが出来ます。
引出しをいっぱいに引いて、少し上に持ち上げて引いて下さい。



【引出しの取付け方】

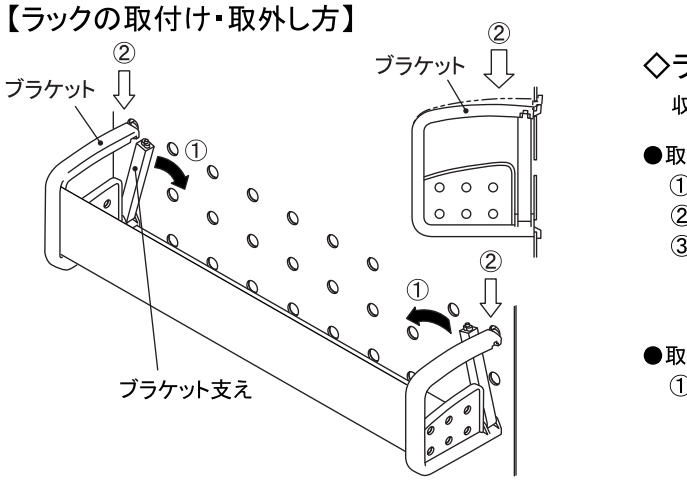
レールを引出した状態で引出しを載せて頂き、そのまま奥まで押し込んで下さい。
カチッという音がすれば取付け終了です。

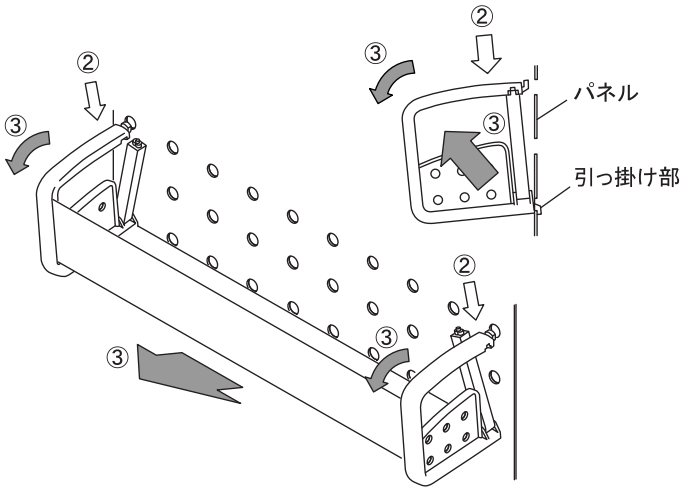
※その際、引出しを何度か出し入れして
　しっかり取付いているか確認して下さい。



ラック・フックの取付について

【ラックの取付け・取外し方】



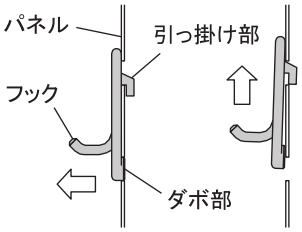


◇ラックを取外す前に必ず収納物を出して下さい。
　収納物が落下してケガや破損の恐れがあります。

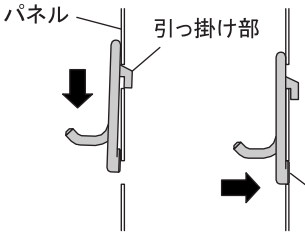
●取外し方
①「➡」矢印のようにブラケット支えを両側とも内側へ倒します。
②「⇨」矢印のように左右両方のブラケットを上から押してたわませます。
③ブラケットをたわませた状態で「➡」矢印のように少し傾けるようにして
ブラケット上部を左右両方ともパネルから脱着し、下部の引っ掛け部を
解除してラックを取外します。

●取付け方
①～③の手順を反対に行って取付下さい。

【フックの取付け・取外し方】



●取外し方
「⇨」矢印の方向にフック部を
つまみ、ダボ部分を穴から外し
上へ引き上げて取外して下さい。

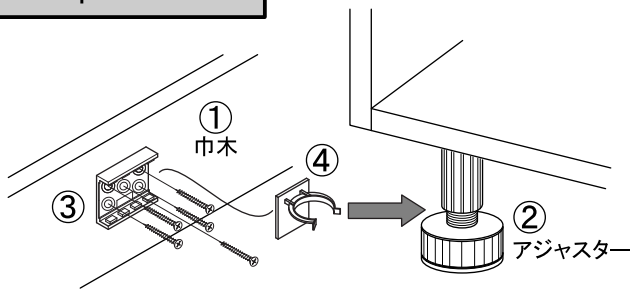


●取付け方
「➡」矢印のようにフックの裏の
引っ掛け部をパネルの穴に引っ
掛け、下にずらしてダボ部分が
穴に入ったら取付け完了です。

巾　木

【巾木について】

巾木は図のように①の巾木が②のアジャスターに
③と④のクリップを使って取付けてあります。
お掃除等で取り外された巾木はそのまま
アジャスターに押し込んで巾木をお取付け下さい。



ダウンライト電球の交換

安全上のご注意

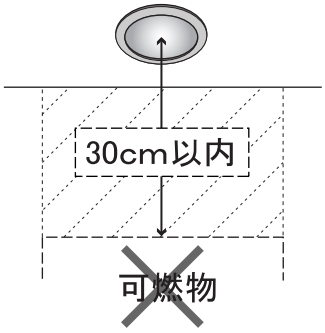
お使いになる前によくお読みいただき必ずお守り下さい

⚠注意

禁止　変色・脱色しやすい物をダウンライトの
下に置かないで下さい。

禁止　ダウンライト本体及びガラス付カバーに物を
貼ったり着色しないで下さい。
⇒過熱、感電、火災の原因になります。

禁止　ダウンライト周辺30cm以内に可燃物を置いたり
近づけないで下さい。
⇒過熱・火災のおそれがあります。

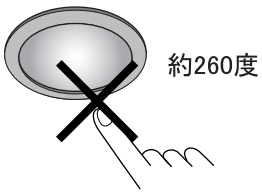


禁止　調光器の使用は避けて下さい。
⇒トランス、ライトの破損、過熱の原因となります。

禁止　クリーナー、洗剤等の薬品や水をハロゲンライトに
直接かけないで下さい。
⇒過熱、感電、やけど、火災の原因になります。

禁止　点灯中の電球を間近で長時間見つめないで下さい。
⇒目が痛くなったり視覚障害の原因となります。

禁止　ダウンライト点灯中は、ガラス面が非常に熱く
なります(約260度)ので絶対に触れないで下さい。
⇒やけどの原因となります。



・ライト点灯中また電源を切った後30分は電球、ガラス付カバーに触らないで下さい。

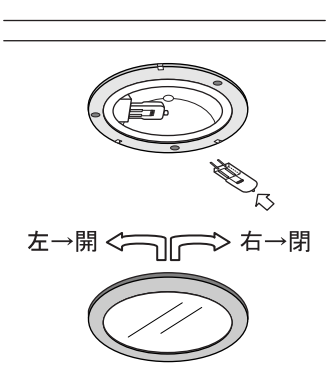
・電球交換は必ず電源を切ってライトの温度が下がっているのを確認してから行って下さい。
⇒やけどの原因となります。

・電球は所定のワット数の物をお使い下さい。
⇒過熱、破損、火災の原因となります。

・電球交換時、ガラス付カバーを落としたり割ったりしないようにして下さい。
⇒破損、ケガの原因となります。

・電球には直接手で触れないで下さい。ガーゼ、布等で包んで交換して下さい。
⇒電球の寿命を短くする原因となります。

・交換電球：G4口金タイプ 12V20W(12V10Wも可)
ハロゲン電球:オスラム社 ※オスラム社以外の電球は使用しないで下さい。



蛍光管・蛍光ランプの交換

安全上のご注意　お使いになる前によくお読みいただき必ずお守り下さい

⚠警告

禁止　器具の隙間や放熱穴に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込まないで下さい。
⇒火災や感電の原因になることがあります。

調光機能付壁スイッチなどの調光器と組み合わせて使用できません。
⇒照明器具が故障します。

⚠注意

禁止　点灯中または消灯直後は蛍光管・蛍光ランプ及び器具に触らないで下さい。
⇒やけどの原因となります。

禁止　蛍光管・蛍光ランプに水をかけたり、濡れた手で触らないで下さい。
⇒破損によるケガや感電の原因となります。

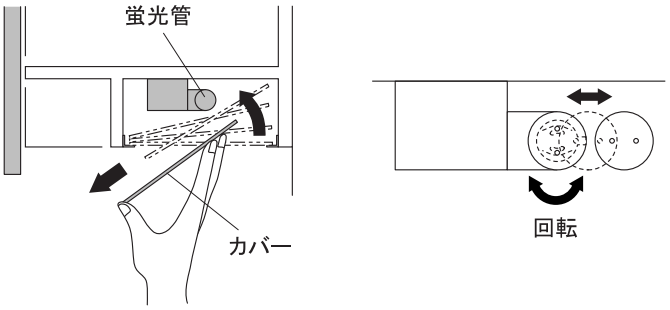
【蛍光管の交換】

※必ず電源を切ってから行って下さい。

・蛍光管交換の際は、所定の種類・ワット(W)数の蛍光管をご使用下さい。
⇒過熱、破損、火災の原因となります。

・蛍光管交換時、右図のようにカバーを取外し、蛍光管をゆっくり回転させて交換下さい。
なお、蛍光管・カバーを落としたり割ったりしないように気をつけて下さい。
⇒破損、ケガの原因となります。

・交換蛍光管：直管形蛍光管　ワット数20W



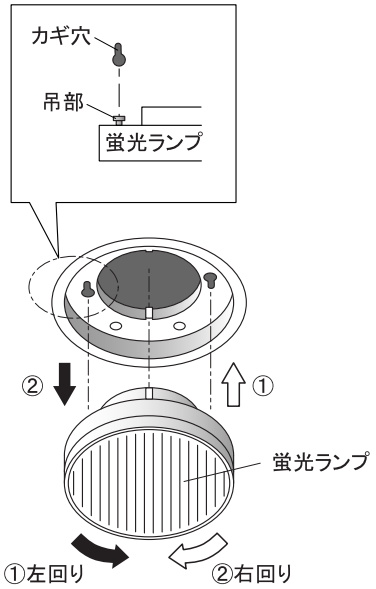
【蛍光ランプの交換】

※必ず電源を切ってから行って下さい。
※点灯直後は暗く、明るくなるまでに数分かかります。

・ランプ交換の際は、所定の種類・ワット(W)数のランプをご使用下さい。
⇒過熱、破損、火災の原因となります。

・ランプ交換時、右図の「➡」矢印のようにランプを反時計回りにゆっくり回転させてカギ穴から吊部を解除して交換下さい。ランプを落さないように気をつけて下さい。
⇒破損、ケガの原因となります。
※取付けの場合は「⇨」矢印のように取付下さい。

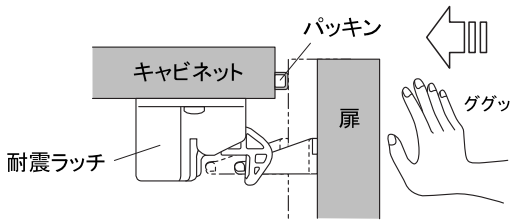
・交換蛍光ランプ：GX53口金タイプ　ワット数8W
インバータ内臓　コンパクト蛍光ランプ　EFF8EN/C7 昼白色



耐震ラッチの解除方法

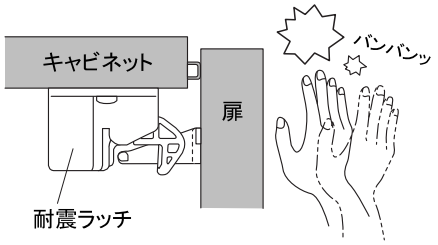
【解除方法①】

扉でパッキンを押しつぶす様にキャビネット側に
押し付けた後、ゆっくり扉を開いて下さい。



【解除方法②】

扉やキャビネットに振動を与え、ゆっくり扉を開いて下さい。



※地震が発生した場合
キャビネット内の収納物が片寄り不安定な状態になっている
恐れがありますのでゆっくり注意して扉を開けて下さい。

日頃のお手入れ

【扉・キャビネットのお手入れ】

お手入れはやわらかい布で水拭きし、必ずカラ拭きして水気を取って下さい。
しつこい汚れは、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞って拭きとり、その後必ず洗剤が
残らないように水拭きし、仕上げにカラ拭きして下さい。

【カウンタートップ・シンクのお手入れ】

◇メラミン・人工大理石のカウンタートップ
汚れはすぐに拭き取って下さい。汚れがおちにくくなり、変色の原因となる恐れがあります。使用後は固く絞ったやわらかい布で水拭きまたはキッチン用中性洗剤を浸したやわらかい布やスポンジで拭き取って下さい。

◇BMCカウンタートップ
汚れがひどい場合（日常のお手入れで落ちにくい汚れ、油性マジック等）は、市販の工業用エタノール、消毒用アルコール（※薬局で購入できます。）アルコール除菌スプレー（※ホームセンターで購入できます。エタノールが入っているものをご使用下さい。メタノールが入っているものは体に悪いので絶対に使用しないで下さい。）を布巾、スポンジ等につけて拭き取って下さい。もしくはプラスチック消しゴムで汚れを擦って下さい。

◇ステンレスのシンク・カウンタートップ
シンクは使用後よく水で洗い流し、カウンタートップは水拭きして下さい。その後、乾いた布で水気を十分に拭き取って下さい。塩分や油脂分の汚れは水を少し含ませた布またはスポンジにキッチン用中性洗剤を含ませて付着した汚れを落とした後にシンクは水で洗い流し、カウンタートップは水拭きしてから乾いた布で水気を拭き取って下さい。

◇カラーシンク
洗浄には、ナイロンスポンジを使用して下さい。
シンクコーティング表面は、金属タワシやフライパンなどで擦っても傷は、付きにくいのですが、金属の跡が残る場合があります。
クリームクレンザーを使ってナイロンスポンジにて洗浄して下さい。
漂白剤を50℃以上に加温して使用したり、シンク表面に長時間つけないで下さい。変質・変色する原因になります。
鋭利な物（包丁など）を落とさないようにして下さい。破損の原因になります。陶磁器などの糸じりに付着した突起物によりコーティング表面に傷が付くことがありますので注意して下さい。また、シンク内に持ち込まれた小石や砂などは、あらかじめ洗い流して下さい。

◇人工大理石シンク
汚れはすぐに拭き取って下さい。汚れがおちにくくなり、変色の原因となる恐れがあります。汚れはキッチン用中性洗剤を浸したやわらかい布やスポンジで洗浄し、水洗いして乾いた布で水気を拭きとって下さい。落ちにくい汚れにはキッチン用中性洗剤を浸したナイロンスポンジで洗浄し、水洗いして乾いた布で水気を拭きとって下さい。
しつこい汚れにはナイロンスポンジにクリームクレンザーをつけて軽く擦って汚れを落としてください。
※擦りすぎると磨いた部分の光沢が変わることがあります。

◆お手入れの注意
金属タワシ・軽石・研磨剤を含む粒子の粗いクレンザーなどは使用しないで下さい。
⇒傷などの原因となる恐れがあります。

カウンタートップ・シンクをお掃除する際、扉やキャビネットに水をかけ濡れたままにしないで下さい。
⇒扉やキャビネット表面のはがれ・染み・膨れなど劣化の原因となります。

クチーナシステムキッチン保証書

品名（扉名）	システムキッチン一式	お客様	お名前　様　電話番号
		設置住所	
お引き渡し日	平成　年　月　日	お買い上げ店 住所・店名	印
保証期間	お引き渡し日から 本体2年間 但し、組み込み機器 1年間		

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書の控えまたは写し等）は、保証期間内の無償修理対応及びその後の安全点検活動やサービス活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

お客様(受注) No.

本保証書はお引き渡し日から明示した期間中に故障が発生した場合、下記に記載する保証規定の範囲において、無償修理を行うことをお約束するものです。

【保証規定】

本製品は当社の製品検査に合格したものです。取扱説明書やラベルまたはその他の注意書きに基づき、お客様の適正なご使用状態のもとで万一故障した場合、本保証規定に従い、故障箇所の修理をさせていただきますので、背表紙記載のお買い上げ販売店までお申し出下さい。なお、保証期間内においても次の場合は有償修理となります。

◇車両・船舶・業務用・病院や施設など一般住宅以外で本来の使用目的以外の用途で使用した場合の不具合。
◇シンクを洗濯槽として使用した場合や天板・水切りプレートをまな板として使用するなど使用目的と異なる使用方法による不具合。
◇お客様または第三者が適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
（例えば、塩素系の洗浄剤・漂白剤・ヌメリ取り剤などの使用によるシンクや天板の変色・腐食・錆び、扉ヒンジの固定ねじが緩んだままでの使用による扉の外れなど）
◇販売店にご相談なく、お客様自身による施工または移動・分解・改造などに起因する不具合。
◇建築躯体の変形、入居後における増改築や改修など商品本体以外の不具合に起因する商品の不具合。
◇商品・部品の経年変化または使用に伴う磨耗・変色・変質・反りなどにより生じる不具合。
◇仕上げのキズなどで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。
◇犬・猫・鳥・鼠などの小動物や昆虫などの行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合。
◇火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・風水害・津波・地盤沈下・凍結・雪害・その他天災地変または戦争・暴動などの破壊行為による不具合。
◇電気供給のトラブルや指定外の燃料・電源（電圧・周波数）の使用や異常水質による故障および損傷。
◇当社の手配によらない第三者による輸送・加工・組立・施工・管理・メンテナンスなどの不備に起因する不具合。
◇自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象や海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、塩化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合。
◇消耗部品（照明の管球・グローランプ・パッキン等）の取替えや修理。
◇給水管、給湯管、排水管のゴミ・異物の詰まり等による故障及び損傷。
◇本保証書のご提示がない場合。
◇本書にお買い上げ販売店の記名及び捺印がなされていない場合や所定事項に未記入の箇所がある場合。
◇本保証書をお買い上げ販売店の承認を得ることなく、字句を訂正や書き替えられた場合。
◇保証期間終了後の修理、交換などは有償とさせていただきます。
◇離島または離島に準じる遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費。
◇その他、当該不具合の発生が弊社の責によらない場合。

●ご転居の場合には事前にお買い上げの販売店にご相談下さい。
●本書は日本国内においてのみ有効です。
●キッチンに組み込まれる設備機器などについては、それぞれに添付されている保証書をご確認下さい。
●本保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は背表紙記載のお買い上げ販売店まで、お問い合わせ下さい。
●本書は再発行いたしませんので、大切に保管して下さい。

CUCINA

製造　株式会社 クチーナ　〒431-3115 静岡県浜松市東区西ヶ崎町937-1　TEL (053)433-2811（代）

アフターサービスについて

修理／お取扱／お手入れ等

何か疑問の点がございましたら、

まず、ご購入先までご連絡を

販売　モーリグループ

モーリショップ 大阪支店	:〒550-0015	大阪市西区南堀江1丁目7番1号	TEL（06）6538-3461（代）
モーリショップ 大阪SR	:〒550-0015	大阪市西区南堀江1丁目7番1号	TEL（06）6533-3461
モーリコーポレーション 東京	:〒150-0035	東京都渋谷区鉢山町15番1号	TEL（03）5458-5500（代）
モーリコーポレーション 東京SR	:〒150-0035	東京都渋谷区鉢山町15番1号	TEL（03）3496-1003
モーリコーポレーション 目黒	:〒152-0004	東京都目黒区鷹番1丁目2番6号	TEL（03）5773-0077（代）
モーリコーポレーション 目黒SR	:〒152-0004	東京都目黒区鷹番1丁目2番6号	TEL（03）5773-0722
モーリショップ 名古屋SR	:〒460-0008	名古屋市中区栄5丁目27番14号 朝日生命名古屋栄ビル1階	TEL（052）242-9200（代）
クチーナ 横浜SR	:〒220-0004	横浜市西区北幸2丁目10番39号 日総第5ビル1階	TEL（045）323-6670（代）
クチーナ こうべSR	:〒650-0044	神戸市中央区東川崎町1丁目8番5号 神戸ダイヤパーキングビル1階	TEL（078）361-2311（代）
クチーナ 福岡SR	:〒812-0018	福岡市博多区住吉2丁目2番1号 スクエア博多イースト1階	TEL（092）262-7717（代）
クチーナ 沖縄SR	:〒901-2223	沖縄県宜野湾市大山6丁目25番6号	TEL（098）942-9125（代）

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒド発散区分

建築基準法改正によりますシックハウス対策の一環として、弊社の商品は、
住宅部品表示ガイドラインに基づく使用面積制限を受けない F☆☆☆☆等級
の低ホルムアルデヒド仕様にて内装仕上・下地材とも、ご提供しております。

商品名称	クチーナ システムキッチン全シリーズ
製造企業名	株式会社 クチーナ

◆ 下記表示方法は、住宅部品表示ガイドラインに基づく。 ◆

発散区分	内装仕上げ部分・下地部分共　F ☆☆☆☆		
ホルムアルデヒド 発散材料区分詳細	パーティクルボード：F ☆☆☆☆	合板	：F ☆☆☆☆
	ＭＤＦ　：F ☆☆☆☆	接着剤	：F ☆☆☆☆
お問い合わせ	上記記載のお買い上げ各販売会社		

- 製造番号及び製造日は、キャビネット添付の表示検査証によりご確認ください。
- ホルムアルデヒドの放散量はゼロではありません。そのため、ユニット庫内や台所の換気をおすすめ致します。

http://www.mohly.co.jp